

新潟県における CKD普及活動

新潟県 成田 一衛(代表)
悴田 亮平

2022年12月版



啓発活動・行政との連携

I) 世界腎臓デーでの啓発活動

懸垂幕



新潟市

新潟市

佐渡市

QRコード:日本腎臓病協会
HPにリンク



ロールアップバナー:県内市役所にて掲示



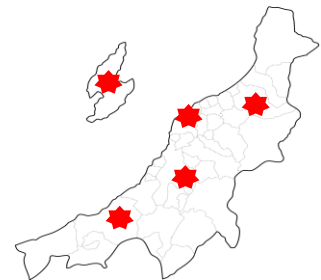
II) リーフレットの活用



日本腎臓協会作成リーフレットを
全戸に配布した(佐渡市、弥彦村)

啓発活動・行政との連携

III) 行政と連携した市民公開セミナー



2022年度:11月13日開催 300名を超える参加をいただいた。

- 新潟市を本会場、県内各所にサテライト会場を設置
- サテライト会場では、基幹病院の腎臓内科医師が司会を担当
- 核となる講演は、オンラインにて配信

↓
人的資源を有効活用
今まで開催が困難だった地域でも
開催可能

2020年度: 10月11日(日)
会場: アートホテル新潟駅前 4階「龍巻」
参加費/無料 ●定員/60名

腎臓にやさしい食事
ちょっと得する薬と腎臓の匠

2021年度: 10月30日(土)
会場: アートホテル新潟駅前 4階「越後」
参加費/無料 ●オンライン参加/定員上限なし

腎臓の働きと病気
腎臓にやさしい食事

市民公開セミナー
テーマ: CKD (慢性腎臓病) 新潟

2022年度: 11月13日(日) 13:00-15:00
会場: 新潟市生涯学習センターにて開催予定
参加費/無料 ●オンライン参加/定員上限なし

腎臓の働きと病気
腎臓にやさしい食事

【新潟会場】対面&オンライン



2020年度:
医師、管理栄養士、
保険薬局の薬剤師
による講演
→分かりやすい講演

2021年度:
新潟県健康福祉課担当者
も演者として参加



100名以上の参加をいただき、
好評を博している

【各サテライト会場】 佐渡エリア 新発田エリア 長岡エリア 上越エリア

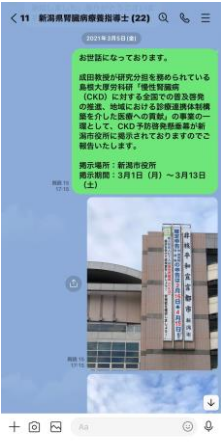


多職種連携

I) 腎臓病療養指導士との関わり

1) 意見交換会の開催 職種横断的な勉強会として機能している

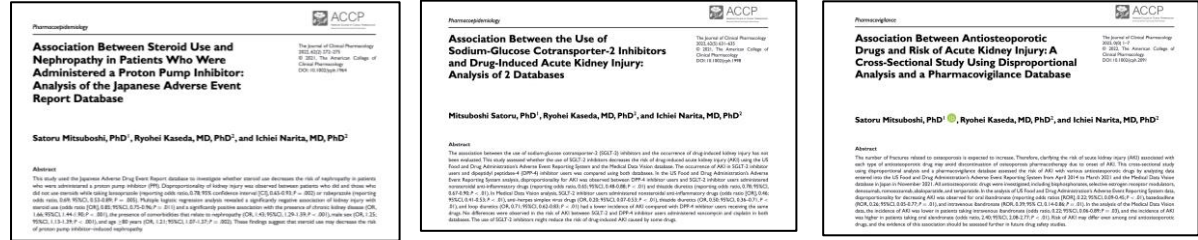
薬剤師によるCKDで注意すべき薬剤についての講演
管理栄養士による栄養指導の講演
新潟県CKD対策部会の県の担当者の講演など



LINEでも意見交換している

2) 学術的な支援

学会発表、論文投稿を支援
論文:英文誌4報、和文誌1報 支援にて採択済み



3) 社会的な活動を共に行う

市民公開セミナー、各種講演会の演者として
依頼している

学術講演会 ターミナルケアとしての
保存的腎臓療法を考える会

日時 2022年7月26日(火) 19:00~20:00

会場 ホテルオークラ新潟 4階「コンチネンタル」
新潟県新潟市中央区川崎町6丁目5 TEL: 025-224-6111

参加方法 「WEB参加」もしくは「会場参加」をご選択ください
※講演会への参加方法につきましては裏面をご覧ください。

18:50~19:00 製品紹介「パフセオ錠について」 田辺三菱製薬株式会社

座長: 成田 一衛 先生
新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学 教授

講演1 19:00~19:20
『薬剤師が病棟で実践する腎臓病療養指導』
演者: 三星 知 先生
下越病院 薬剤課

講演2 19:20~20:10
『保存的腎臓療法とウルミットギンママネジメント』
演者: 山本 卓 先生
新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部 准教授

下越薬剤師会学術研修会

日時: 2022年8月19日(金) 18:30~20:00

①会場: 新潟市生涯学習センター「第0研修室」
新潟市中央区5丁目8-47 TEL: 0254-26-7191

②WEB配信(Zoom使用予定) 参加
*参加方法につきましては裏面に方法を記載しております

プログラム

座長: 新潟県立新発田病院 腎臓内科 小川 麻 先生

一般講演 18:30~19:00

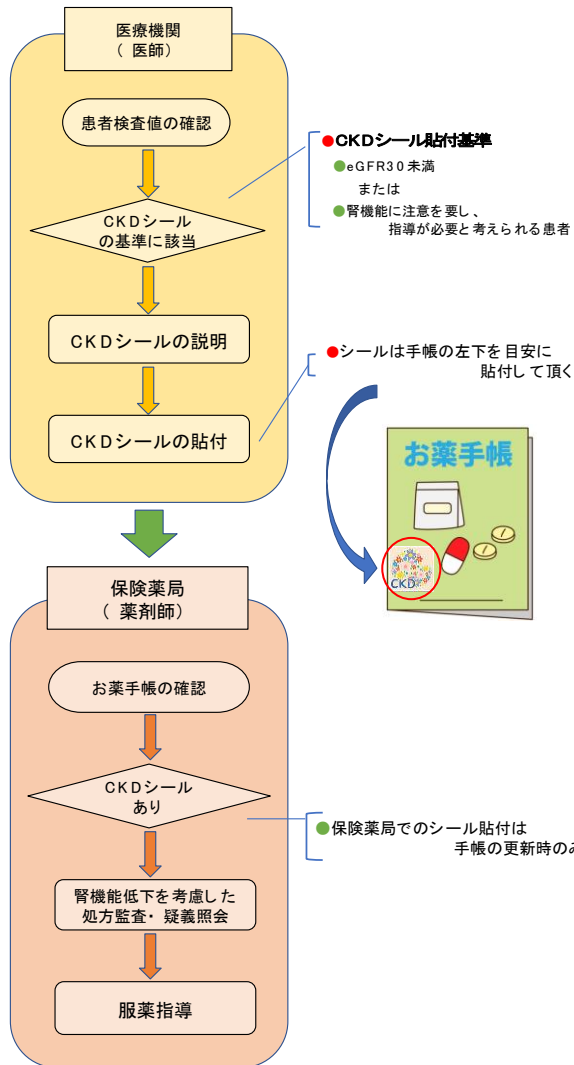
『腎臓病療養指導を考える』
演者: 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 中川 裕介先生

特別講演 19:00~20:00

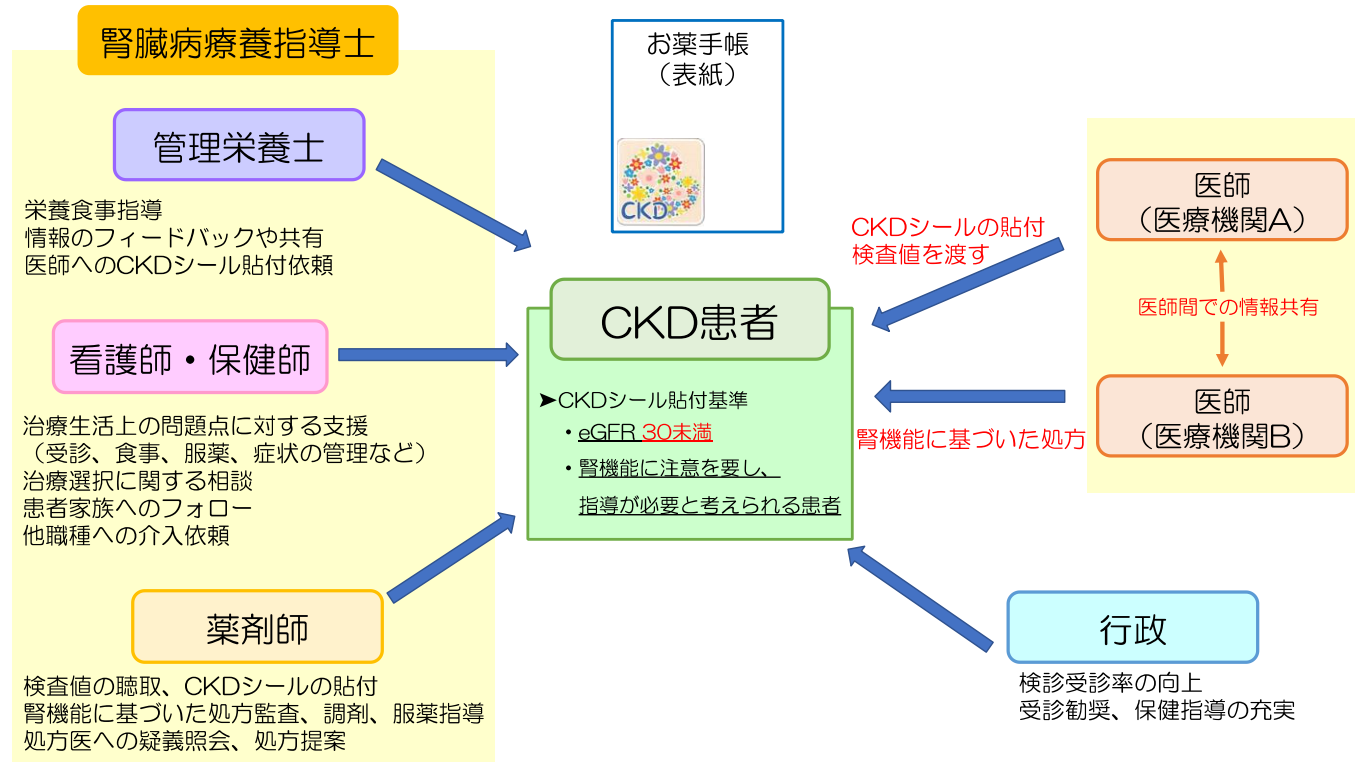
『保存的腎臓療法に重要なCKD薬物治療』
演者: 新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部 准教授 山本 卓 先生
(*ご購入はWEB講演です)

多職種連携

II) CKDシールの活用



運用の流れ図



多職種連携のイメージ

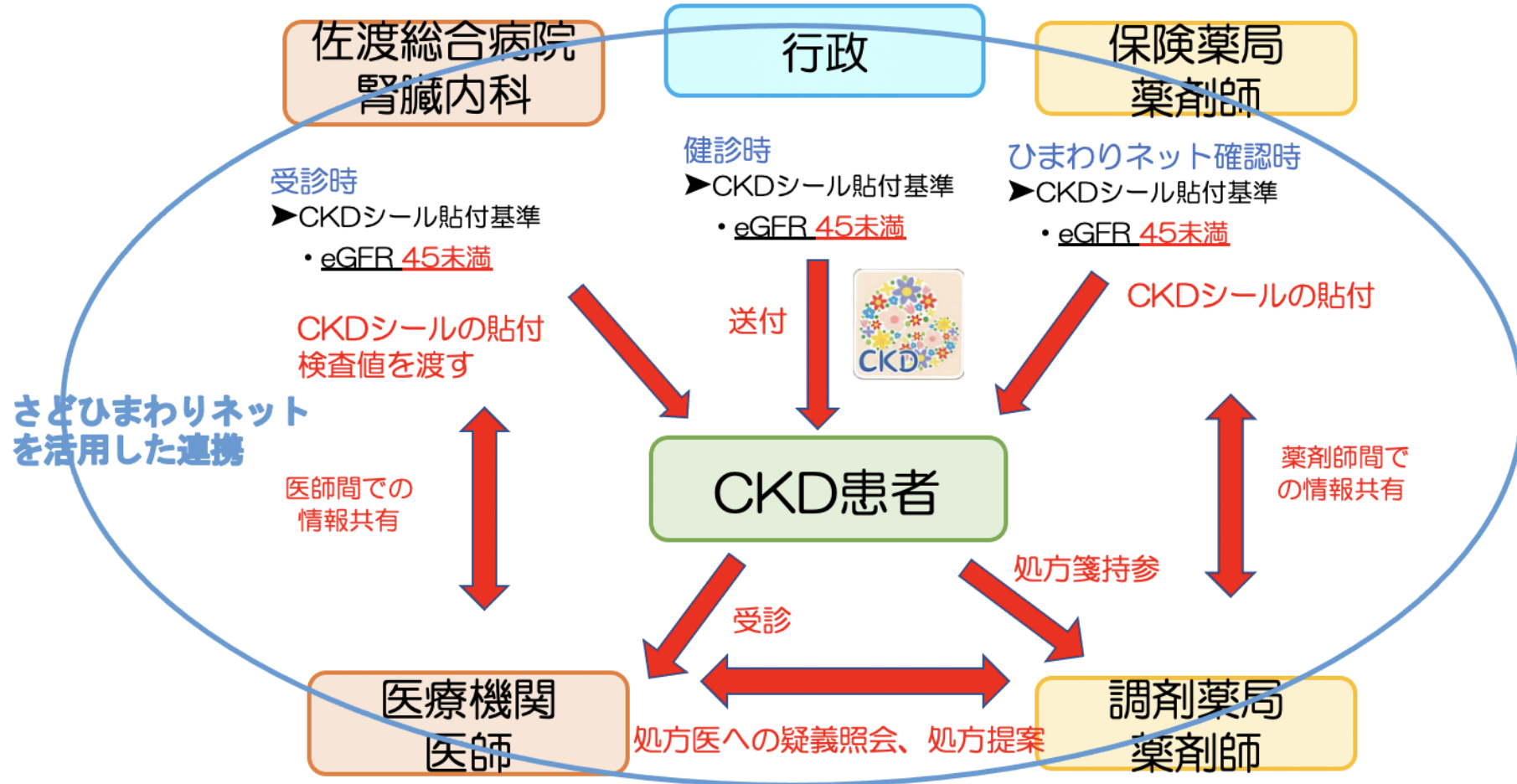


シールデザイン

- ・2020年より運用開始した。
- ・主に、薬局での処方監査、疑義紹介において有用と想定するが、CKD教育における**多職種が連携できるツール**としての有用性を期待する。
- ・CKDシールが広まることにより、**一般市民のCKDに対する認知度が向上**し、検診受診率の向上や受診勧奨、保健活動の充実などの**行政への波及効果**を期待する。

多職種連携

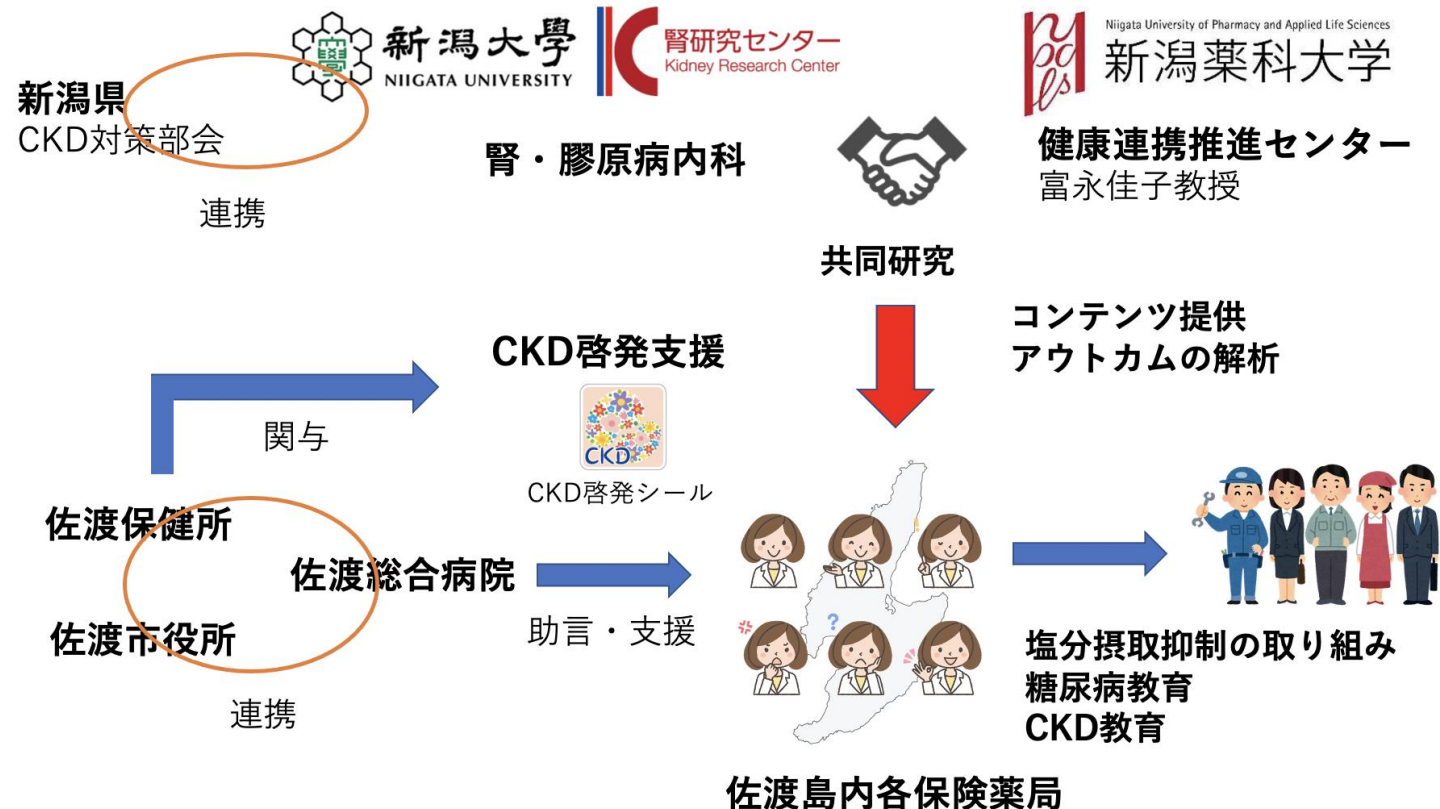
II) CKDシールの活用



- 佐渡では、**地域医療連携ネットワーク**である「さどひまわりネット」を活用して、CKDシールを、多職種を繋ぐツールとして運用している。
- 薬剤師、行政もCKDシール貼付者として、参画している。

多職種連携

III) 地域の保険薬局を介した教育:新潟薬科大学 富永佳子教授との共同研究(佐渡での取り組み) 「生活習慣病を有する患者に対する薬局での行動変容支援による重症化予防」

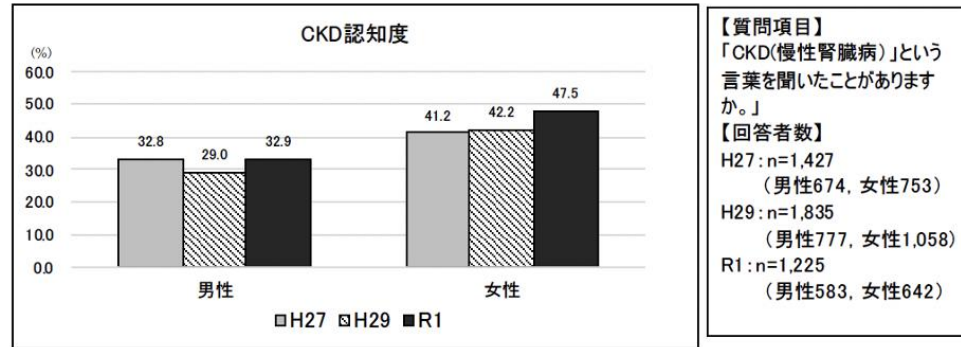


- 医師を含めた医療者の人的資源が乏しい地域でも地域に根差した保険薬局が存在する。
- 保険薬局を介したCKDを包括した生活習慣病教育の整備を開始した。

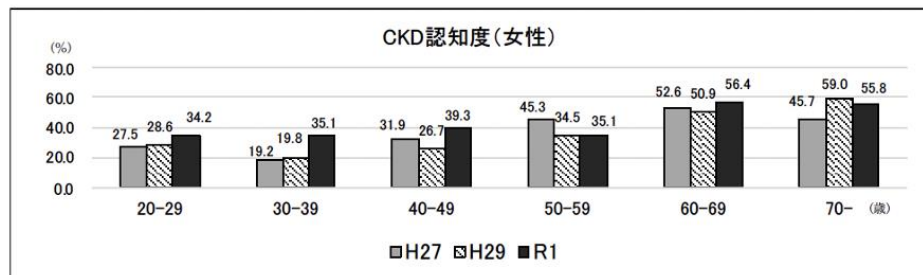
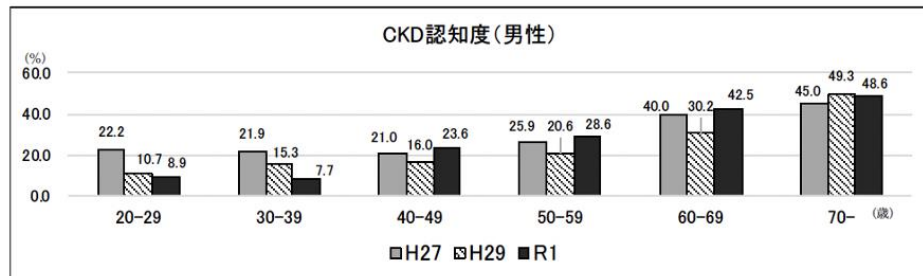
若い世代のヘルスリテラシー向上にむけた取り組み

I) 新潟県アンケート調査

20-40代の特に男性のCKDの認知度が低いことが明らかになった。



出典：県民健康・栄養実態調査報告（新潟県）



出典：県民健康・栄養実態調査報告（新潟県）



II) 「にいがた健康経営推進企業」を活用したアプローチ

「にいがた健康経営推進企業」: 従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業として、新潟県に登録されている。
601企業 従業員数 72,571

比較的若い男性への認知度向上のため、日本腎臓病協会のリーフレットを配布した。



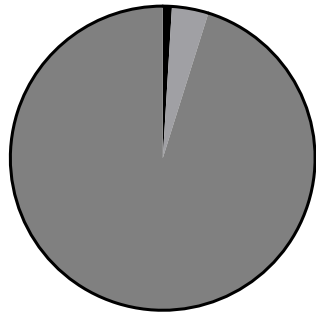
今後、県のCKD対策部会と相談し、地域の会議や研修への参画やにいがた健康経営推進企業から要望があった場合の出前講座を行う検討を行っている。
～腎臓病療養指導士の活躍の場となりうる期待～

若い世代のヘルスリテラシー向上にむけた取り組み

III) 新潟医療福祉大学 中村純子講師との共同研究

高校生のアンケート調査にて、CKDの認知、腎臓の働きと知識が乏しいことが明らかになった。

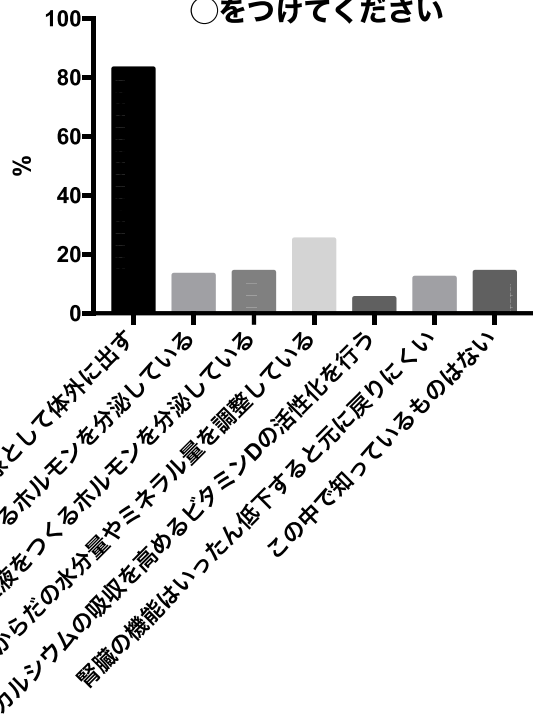
慢性腎臓病（CKD）を知っていますか？



回答数=103名

- 知っている 1名
- 病名のみ 4名
- 知らない 98名

自分が知っている腎臓の働きについて
○をつけてください



中学生、高校生への授業に着手している



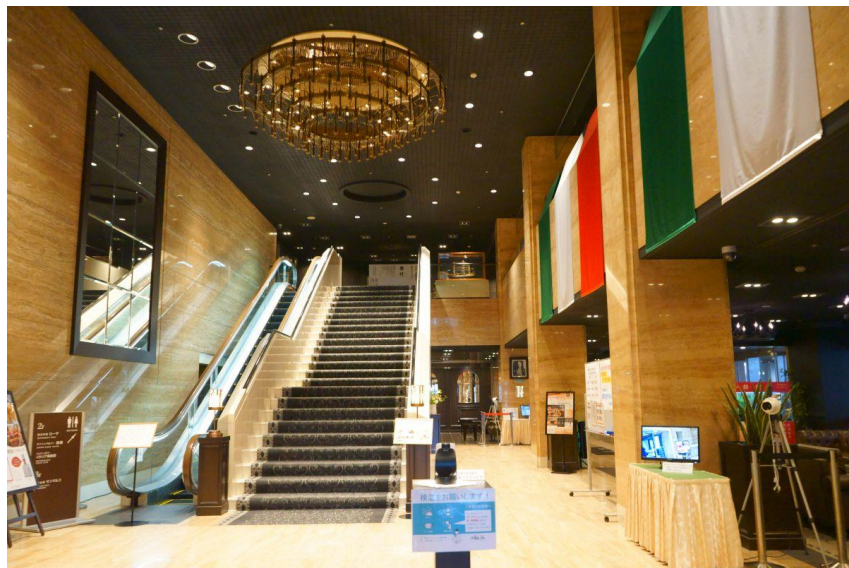
中学生の親子への食事量や生活習慣の授業の様子

ASN (米国腎臓学会) Kidney Week 2022にて、
The importance of promoting health literacy of CKD to younger generation
～ The data from Niigata Prefectural Health and Nutrition Survey and questionnaire survey to high school student in Japan～
として、演題が採択され発表

若い世代のヘルスリテラシー向上にむけた取り組み

III) 新潟医療福祉大学 中村純子講師との共同研究

新潟市内のホテルのパティシエとともに、冬休みに中学生が親子で、お菓子作りをしながら、CKDの普及啓発活動を行う予定



20 歳代の健康課題と慢性腎臓病 (CKD) について

10月に南浜中学校2年生を対象に下記の内容について、お話をしました。「家族にも伝えたい！」と感想を述べてくださった生徒さんが多く、とても嬉しかったです。ぜひ、冬休みに「健康について」家族で話し合ってみましょう。

こんな話をしました

20 歳代の健康課題は？



20 歳代男性の 4 人に 1 人は肥満！

肥満は、生活習慣病のリスクとなります。肥満と関係のある「遅い就寝」や「朝食欠食」をしないように、今から気をつけましょう。



20 歳代女性の 5 人に 1 人はやせ！

過度なダイエットは、貧血や骨がもろくなる原因となります。また、妊娠した時にも問題が…赤ちゃんの病気になるリスクが高くなってしまいます。

CKD ってどんな病気？



今や、成人の 8 人に 1 人が CKD とされています。

CKD とは、
■腎臓の働きが健康な人の 60% 以下に低下する
■たんぱく尿がでるといった、腎臓の異常が続く状態を言います。

▶▶▶ 早期発見には**健診**を受けることが大切です



腎臓はとても頑張り屋さん。ダメになるギリギリまで働きます。健診で腎臓からの SOS を早めにつけてみましょう。



血液検査でチェック
eGFR (イージーエフアール)
⇒60 以下になっていないですか？

尿検査でチェック
たんぱく尿
⇒たんぱく尿がでていませんか？

▶▶▶ 早期発見には**CKD を知る**ことが大切です

CKD の認知度は、若い世代で特に低い！
そこで、みなさんと CKD の普及啓発を行いたいと考えています。

問合せ先

新潟医療福祉大学 健康栄養学科 中村純子
Tel 025-257-4418 (直通)
Mail junko-makamura@nuhw.ac.jp

3 月の第 2 木曜日は世界腎臓デー！

3月の世界腎臓デーに向けて、南浜中学校2年生と保護者のみなさんにご協力いただき、CKD 普及啓発のキャラクターとデザートを作成したいと考えています。ぜひたくさんさんのアイデアをお願いします。

1. 腎臓をモチーフにしたキャラクター

例えば・・・



2. CKD 普及啓発のデザート

※デザートはケーキやプリン、または焼き菓子

例えば・・・



腎臓の形のチョコレート
腎臓の血管をイメージしたモンブラン